

令和6年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況（新潟県）

新潟労働局

1 職場における熱中症による死傷者数の状況

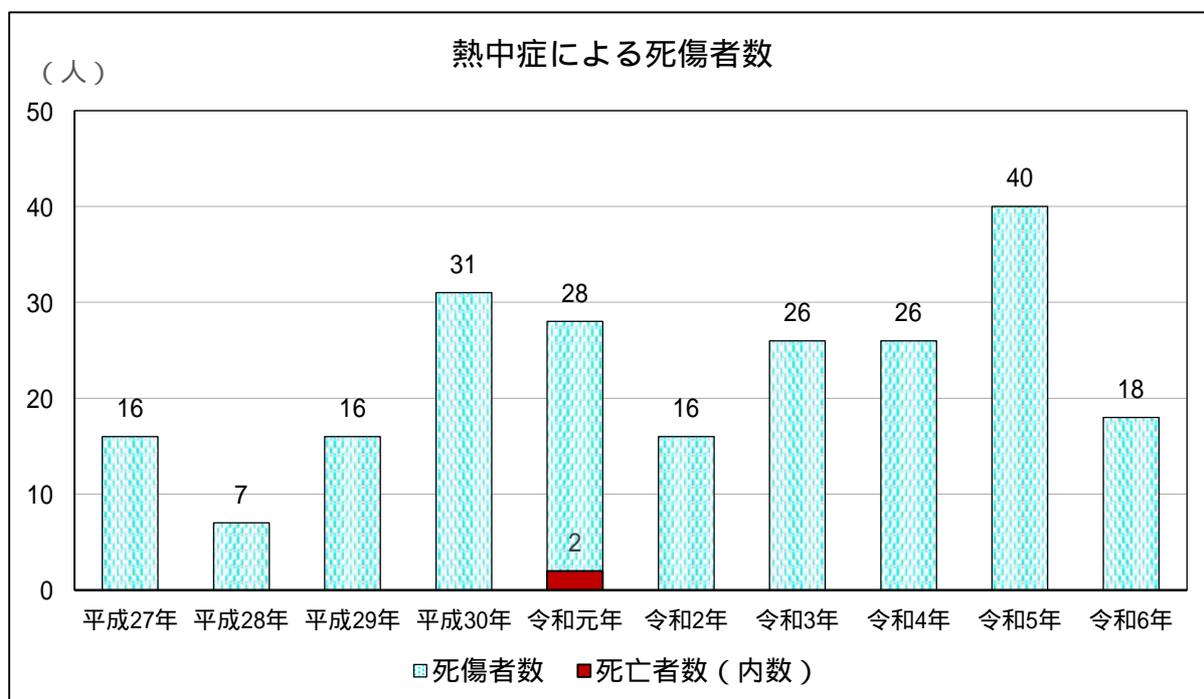
新潟県内の職場における熱中症による死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者の数（以下「死傷者数」という。）は、令和6年において18人となった。

なお、死亡者は発生していない。

職場における熱中症による死傷者数の推移（平成27年～令和6年）（人）

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
16 (0)	7 (0)	16 (0)	31 (0)	28 (2)	16 (0)	26 (0)	26 (0)	40 (0)	18 (0)

労働者死傷病報告（休業4日以上）による集計。（ ）内の数字は死亡者数で内数。



2 業種別発生状況（令和2年～6年分）

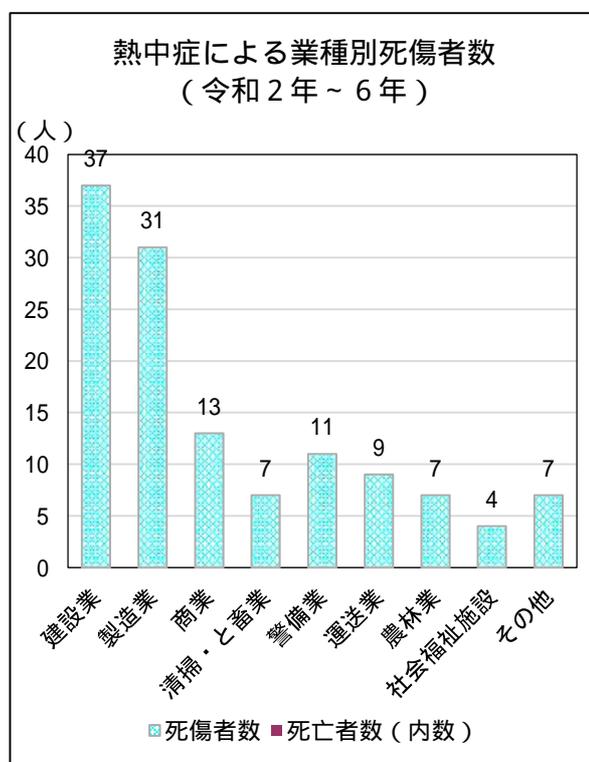
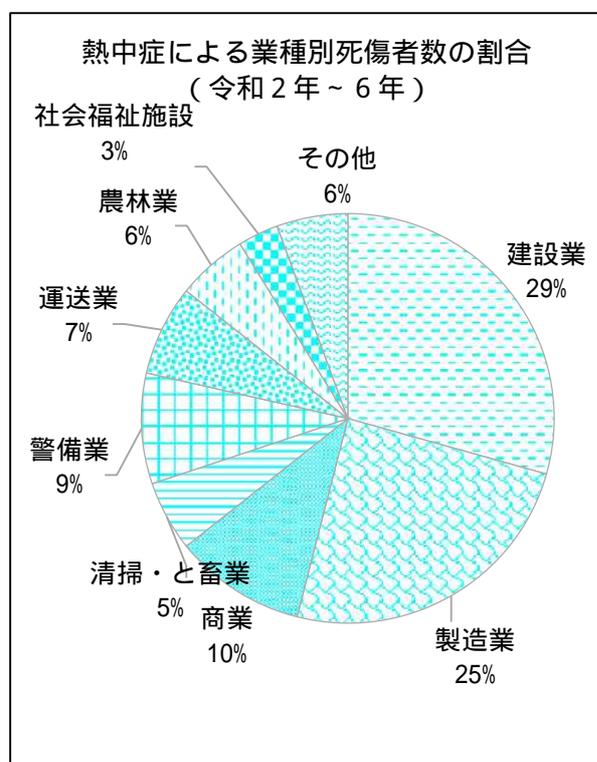
令和2年以降の業種別の熱中症の死傷者数をみると、建設業、次いで製造業で多く発生している。

死亡災害は、上記の期間において発生していない。

熱中症による死傷者数の業種別の状況（令和2年～令和6年）（人）

業種	建設業	製造業	商業	清掃・と畜業	警備業	運送業	農林業	社会福祉施設	その他	計
令和2年	5 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	16 (0)
令和3年	7 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	26 (0)
令和4年	9 (0)	2 (0)	6 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	0 (0)	26 (0)
令和5年	11 (0)	14 (0)	5 (0)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	40 (0)
令和6年	5 (0)	5 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (0)
計	37 (0)	31 (0)	13 (0)	7 (0)	11 (0)	9 (0)	7 (0)	4 (0)	7 (0)	126 (0)

労働者死傷病報告（休業4日以上）による集計。（ ）内の数字は死亡者数で内数。



3 月・時間帯別発生状況（令和2年～6年分）

（1）月別発生状況

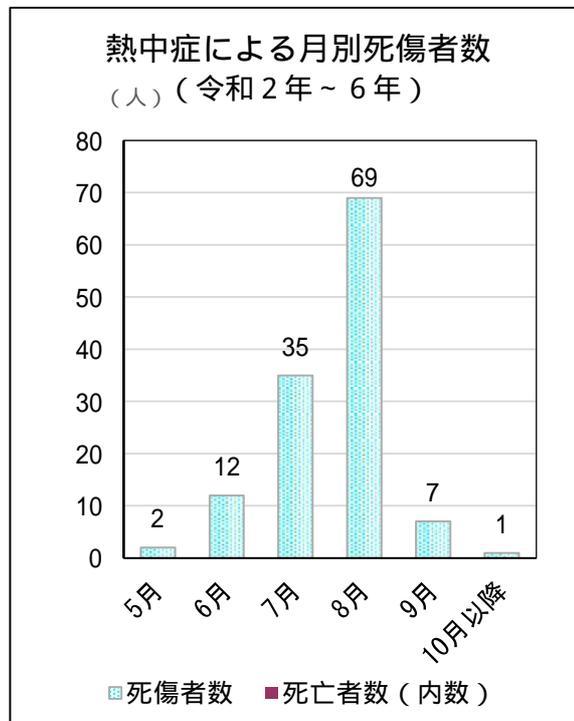
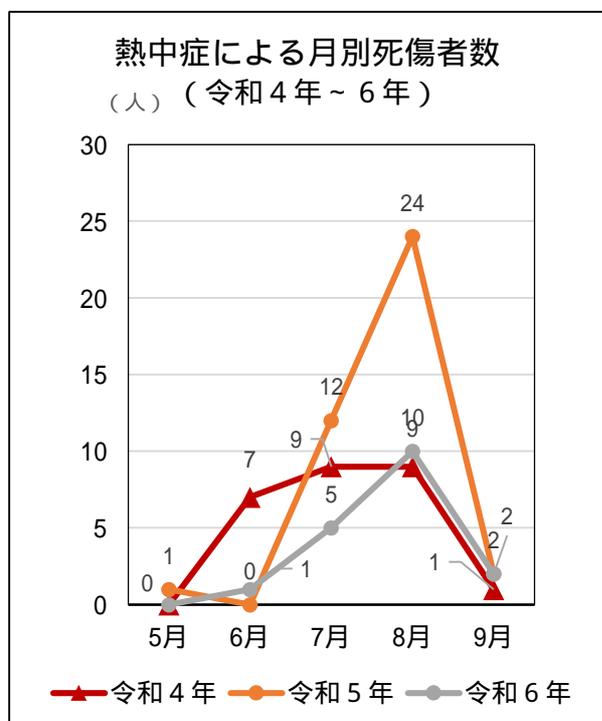
例年7・8月に集中して発生している。

熱中症による死傷者数の月別の状況（令和2年～6年）

（人）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降	計
令和2年	0 (0)	3 (0)	1 (0)	10 (0)	2 (0)	0 (0)	16 (0)
令和3年	1 (0)	1 (0)	8 (0)	16 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (0)
令和4年	0 (0)	7 (0)	9 (0)	9 (0)	1 (0)	0 (0)	26 (0)
令和5年	1 (0)	0 (0)	12 (0)	24 (0)	2 (0)	1 (0)	40 (0)
令和6年	0 (0)	1 (0)	5 (0)	10 (0)	2 (0)	0 (0)	18 (0)
計	2 (0)	12 (0)	35 (0)	69 (0)	7 (0)	1 (0)	126 (0)

労働者死傷病報告（休業4日以上）による集計。（ ）内の数字は死亡者数で内数。



(2) 時間帯別発生状況

令和2年以降の時間帯別の熱中症の死傷者数をみると、16時台が最も多い。

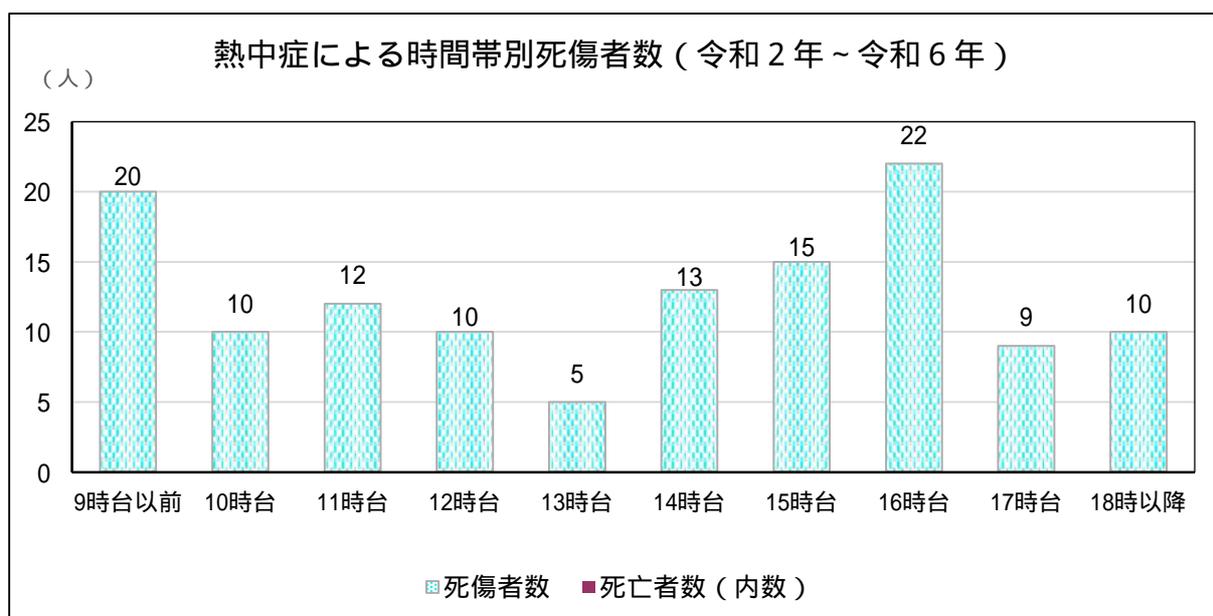
17・18時台の発生の中には、日中の作業後に体調が悪化して病院に搬送される事例も認められる。

熱中症による死傷者数の月別の状況（令和2年～6年）

（人）

	9時台以前	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台以降	計
令和2年	1 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	4 (0)	1 (0)	16 (0)
令和3年	2 (0)	2 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)	3 (0)	1 (0)	5 (0)	26 (0)
令和4年	6 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	26 (0)
令和5年	8 (0)	5 (0)	4 (0)	4 (0)	1 (0)	2 (0)	5 (0)	8 (0)	1 (0)	2 (0)	40 (0)
令和6年	3 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	5 (0)	1 (0)	1 (0)	18 (0)
計	20 (0)	10 (0)	12 (0)	10 (0)	5 (0)	13 (0)	15 (0)	22 (0)	9 (0)	10 (0)	126 (0)

労働者死傷病報告（休業4日以上）による集計。（ ）内の数字は死亡者数で内数。



4 年齢別発生状況（令和2年～6年分）

令和2年以降の年齢別の熱中症による死傷者数をみると、全体の約半数が50歳以上となっている。

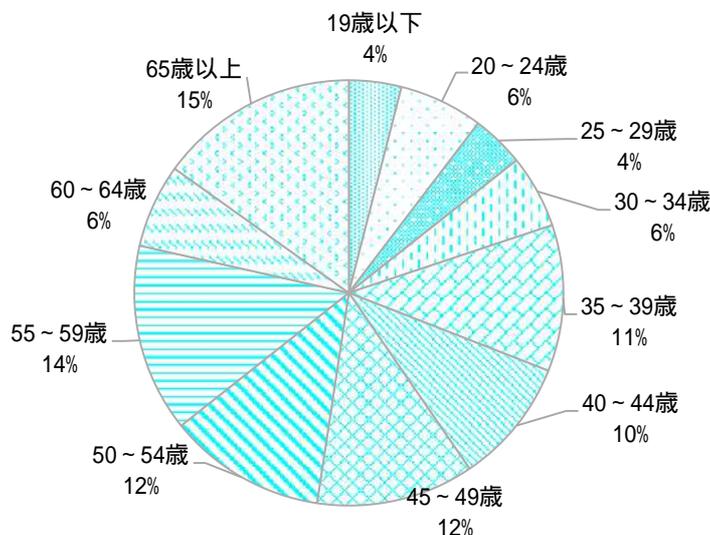
熱中症による死傷者数の年齢別の状況（令和2年～6年）

（人）

	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上	計
令和2年	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	16 (0)
令和3年	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	6 (0)	2 (0)	3 (0)	26 (0)
令和4年	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	4 (0)	4 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	5 (0)	26 (0)
令和5年	1 (0)	4 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	2 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)	3 (0)	8 (0)	40 (0)
令和6年	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	3 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	18 (0)
計	5 (0)	8 (0)	5 (0)	7 (0)	14 (0)	12 (0)	15 (0)	15 (0)	18 (0)	8 (0)	19 (0)	126 (0)

労働者死傷病報告（休業4日以上）による集計。（ ）内の数字は死亡者数で内数。

熱中症による年齢別死傷者数の割合（令和2年～6年）



5 令和6年の熱中症による主な災害事例

番号	発 生 月	業 種	年 代	気 温 (1)	暑 さ 指 数 (WBGT) (2)	事 案 の 概 要
1	7	運 送 業	40 歳 代	30.8	28.5	倉庫にて積み込み作業中に体調不良となり、救急搬送された。
2	7	製 造 業	40 歳 代	30.7	29.8	工場内で作業中、急に足に力が入らなくなりその場に座り込んでしまい、立ち上がることができず、しゃべることも困難なため救急搬送された。
3	7	建 設 業	50 歳 代	32.0	30.5	空調服を着用し、トラックへ資材の積み込みを行っていたところ、急に呼吸が苦しくなりしゃがみ込んでしまったため、救急搬送された。
4	8	警 備 業	30 歳 代	33.5	32.6	夜間の警報への対応業務が立て続けに発生し対応を行っていたところ、しゃがみ込んで動けなくなったため勤務を中断し、帰宅後に救急外来を受診した。
5	8	建 設 業	60 歳 代	33.6	32.0	一般住宅の改修工事において、外壁の地下調整作業を行っていたところ、夕方くらいから気分が悪くなり、帰宅後、夜になっても回復しなかったことから救急搬送された。
6	8	農 業	70 歳 代	33.4	32.1	草刈機で除草作業を行っていたところ、苦しくなり倒れてしまい救急搬送された。
7	8	製 造 業	40 歳 代	36.5	33.6	部品の組み立て作業中のはずの被災者が、扇風機の前で座っていたため、別の作業員が被災者に声掛けしたところ、返事がおかしかったため、救急搬送された。
8	8	清 掃 業	30 歳 代	34.3	29.6	午前中、自動車部品の解体作業中に体が重いのと思い休憩していたが、意識が朦朧としてきたため、病院を受診した。

1 気象庁観測データで、被災地点に最も近い観測地点の気温

2 環境省発表データで、被災地点に最も近い観測地点の WBGT 値